

フランスBtoB旅行博「TOPRESA」に出展、メディアへの瀬戸内PRイベントも実施

フランスからの誘客拡大を図るため、10月1日～4日にフランス・パリで開催されたフランス最大のB to B旅行博「TOPRESA2019」にせとうち観光推進機構としてブースを出展し、現地の旅行会社、メディアに対し情報発信を行いました。

現地エージェンシーのリレーションを活用し15社との商談を実施するなかで、瀬戸内の魅力、2020年の新たなトピックス等について丁寧な説明を行いました。なかには各スポットで楽しめる具体的な商品が知りたいというような声も頂き、プロダクト情報を提供するなどより中身の濃い商談を行うことができました。また、多くの会社が瀬戸内で楽しむことのできるアイランドホッピングやサイクリングなどの体験、また歴史や文化、食、さらには人との触れ合いに非常に興味を持っており、フランスという市場におけるデスティネーションとしての瀬戸内への期待を肌で感じることもできた場となりました。

10月2日にはパリのメディアや旅行関係者など20数名に参加頂き、瀬戸内のPRイベントをパリ市内で実施しました。山口県の旭酒造様とのコラボレーションにより、人気の「獺祭」を味わいながら瀬戸内のプレゼンを聞いて頂くなど、楽しみながら瀬戸内のことをより知って、感じてもらうことができました。

こうして作り上げたリレーションをさらに活用し、フランスから瀬戸内への訪問者数の拡大を図ってまいります。



TOPRESA2019



メディア向けPRイベント



瀬戸内Finder 10月人気記事TOP5



地元ライターによる
瀬戸内情報発信中！
<http://setouchifinder.com>

- #1  [絶景すぎる稲荷神社](#)
山口県
- #2  [特集 周防大島
海だけじゃない！](#)
山口県
- #3  [栗林公園を早朝に
訪れるべき5つの理由](#)
香川県
- #4  [日本三大秘境！
徳島県『祖谷』が
スゴすぎる！](#)
徳島県
- #5  [広島県呉市の秋祭り
の名物『やぶ』の大喧嘩
は迫力満点！](#)
広島県

JNTOと連携した「マーケティング研修会inせとうち」を開催

日本政府観光局（以下、JNTO）は、訪日外国人旅行者の拡大に向けて、日本各地での取り組み強化・促進のため、「JNTO マーケティング研修会」を開催しています。JNTOのマーケティング手法及び観光コンテンツ作成のポイント、JNTOの地域支援サービスの活用方法等について共有し、各地域における訪日インバウンド取組の高度化を図るものです。

せとうちDMOはJNTOと連携し、「マーケティング研修会inせとうち」を10月8日、広島市において開催しました。当日は広島県を中心に瀬戸内エリアの各県の自治体、観光団体、事業者の方々約80名が参加されました。

JNTOからは、今日から実践するデジタルマーケティングと題して、SNSを活用した外国人への効果的な情報発信のポイントなど具体的な事例が紹介されました。またJNTOの観光コンテンツ収集事業からみる観光コンテンツ作成のポイントについても講演が行われ、ストーリー性、地域資源の活用、限定感などといったキーワードが受講者に伝えられました。

最後にせとうちDMOからは、JNTOとの連携状況、ならびにせとうちDMOのメディア、旅行会社それぞれへの取組状況などを説明するとともに、さらなる瀬戸内エリアへの訪日外国旅行者の拡大に向け、地域のDMOや自治体、事業者との連携を呼びかけました。

せとうちDMOは今後もJNTOとの連携を行い、様々な情報の共有、効果的なマーケティングプロモーションを提案してまいります。



金平専務理事 挨拶



村木CMO 講演

メディア掲載実績

- せとうちDMO
- 10月1日 観光会議ほっかいどう (10月号)
- 10月3日 中国新聞
新潟日報
- 10月7日 毎日新聞
- 10月16日 中国新聞
- 10月25日 広島ホームテレビ
ウイंक(11月号)
- 新専務理事就任
- 10月2日 中国新聞
- 10月3日 交通新聞
- 10月11日 日本経済新聞
- 10月24日 広島経済レポート
- 10月30日 中国新聞
- 海外戦略
- 10月17日 NHK
- 10月18日 山口新聞
- ヒルトン
- 10月1日 中国新聞
- 10月30日 中国新聞
広島ホームテレビ

海外メディア116媒体で掲載されました！

9月は欧米市場116媒体で、瀬戸内エリアの記事が紹介されました！（内訳は、アメリカ：41、イギリス：50、フランス：16、ドイツ：9）ひと月あたりの露出媒体数が100記事を超えたのは、効果測定を始めて以降初めてです。当DMOのプロモーションの効果が表れており、より一層ディステーションとして“Setouchi”の認知度が高まっています。

英「Metro」

発行部数：
約145万部/日

METRO

<The calm before the storm>
嵐の前の静けさ



瀬戸大橋

掲載スポット

【広島】LOG、せとうち 湊のやど
【香川】地中美術館、瀬戸内国際芸術祭、小豆島、女木島、本島（ほか）

2019/9/9掲載

米「Matador Network」

媒体接触者数：
約250万PV/月

MATADOR network

<The best places to travel this November >
今年の11月の旅に最高の場所

TRIP PLANNING

The best places to travel this November

10. Okayama, Japan



岡山県
備中松山城

掲載スポット
【岡山】
岡山芸術交流、
ザ・シロヤマ
テラス津山別邸

If gazing at nature's best work isn't enough, November also hosts the final month of the Okayama Art Summit, a two-month international expo curated by French artist Pierre Huyghe. The city is filled with contemporary installations and exhibitions in multiple venues, making Okayama one of the most visually stimulating places in the world this month. Take a room at the Tsuyama hotel, and you can score an open-air bathroom with a private terrace from which to overlook the city in all its color-filled splendor.

2019/9/17掲載

<https://matadornetwork.com/read/best-november-travel/>

独「Neues Deutschland」

発行部数：
約2万部/日

Neues Deutschland

Leben mit den Onba

Dank der Kreativität seiner Bewohner hat Ogijima in alternder Gesellschaft eine demografische Wende erreicht

Führt Japans stark alternde Bevölkerung das Land perspektivisch in den Stillstand? Auf einer fast entvölkerten Insel beweisen Senioren mit jugendlichen Spielereien das Gegenteil. Und nicht nur dort.

Felix Lill



Geführte für die Alten oder Kunstobjekte – die Onba. Foto: Flickr/Mano Berlin, CC BY-SA 2.0

Auf den ersten Blick wirkt der mit Gras bedeckte Hof vor der Werkstatt von Yoshifumi Oshima wie ein Kindergarten. Hier parkt eine Lokomotive, dort ein Rennwagen, wenige Meter weiter ein LKW – alle sind höchstens einen Meter hoch und mit einem Biegel ausgestattet, womit sich die Gefährte anschoben lassen. Nur dienen die Dinger nicht als Spielzeuge. «Für uns sind das quasi Autos», dozieren der ältere Herr in Blolatschen und schlabrigem T-Shirt. Mit «uns» meint er die Insel Ogijima, und für Autos erklärt er die Wägelchen deshalb, weil die Straßen hier für echte motorisierte Fahrzeuge viel zu eng und steil wären. «Deswegen fahren wir auf Ogijima eigentlich nur Onba.»

香川県
男木島

Seit werden die Onba, wie man diese Mischlinge aus Rollstühlen und Einkaufswagen hier nennt, von niemandem wirklich ernst genommen und diese bewahren Ogijima deshalb – aber keine von allen die Menschen, sagt die 47-jährige Frau Yukiko Oshima und sagt von seinem gut besetzten Hof aus in der Straße, die sich bergab Richtung Küste führt. «Bis vor ein paar Jahren, die meisten meiner Bewohner stellten ihre Rollstühle oder Fahrten nach oben zum Haus tragen. Wir können hier gar nicht fahren ohne die Onba.»

Die Onba sind viel mehr als nur Transportmittel. Auf der 108,4 Hektar Insel Ogijima, die um die Jahrtausendwende noch fast 2000 Einwohner zählte, haben die hier und künstlich designten Onba die Insel wie ein Kolonialgebiet besetzt. Die sagt sich derzeit Raburen der Senoichi-Terrasse, einer Seite moderner Kunstinstallation auf einem 100m² kleinen Hügel im Süden der Insel, die noch im Anfang November luden. In diversen, manchmal unter Häusern wachsenden anderen auf Ogijima, die nur einer von 1,14 Quadratkilometern hat, verschwinden Onba.

Die paar Häuser stellen klingen von der Straße bis zum Bahnhofsgebäude, die mit je einem Gegenstand gefüllt sind. Sie stehen für Bewohner wichtige Momente in ihrem Leben. Das ist nicht von Onba über ein erstes Objekt, ihre Handhabung hat sie machen. Für Mitarbeiter ist auf dem engen Ogijima wirklich Platz.

Zu einem der Publikumsprogramme der gesamten Terrassen aber sind die menschlichen Onba die einen zugehörigen Nachbarn sind Kinder an den Gefährten bereit, Erwachsene während Solitär mit Onba innerhalb und der zum Symbol von Ogijima geworden.

仏「Sport & Style」

発行部数：
約18万部/月

Sport & Style

<Archipelago in freewheeling mode>
自由な雰囲気の中の群島



しまなみ海道

掲載スポット

【広島】USHIO CHOCOLATL、ONOMICHI U2
【愛媛】伊藤豊雄建ミュージアム、亀老山展望公園、来島海峡（ほか）

2019/9/1掲載

掲載スポット

【香川】オンバ・ファクトリー

2019/9/11掲載

その他の記事は、サイト「SETOUCHI TRIP」MEDIA & TRAVEL TRADE「SETOUCHI in the News」をご覧ください。

<http://setouchitrip.com/media>

米国グループPRESS視察ツアー実施

せとうちDMOの重点対象市場の1つである米国からの誘客を促進するため、現地の有力誌に多数寄稿している米国人ジャーナリスト5名を招聘し、視察ツアーを実施しました。今回の視察ツアーは、「山口」「広島」「愛媛」「香川」を回り、瀬戸内エリアにフォーカスした内容で実施することができました。瀬戸内での滞在は、2019年11月16日～23日の8日間で山口県萩市での大漁旗絵付け体験、岩国市旭酒造では桜井会長へのインタビュー、NETFRIXで取り上げられ話題となった広島県呉市の藻塩工場（蒲刈物産）の取材、とびしま海道サイクリング、愛媛県大洲市では来年春スタート予定の大洲城キャッスルステイの取材、道後温泉での野球拳体験、香川県（男木島、女木島、本島）では秋会期開催中の瀬戸内国際芸術祭の取材、最終日には、作品がMOMAニューヨーク近代美術館のパーマネントコレクションとなっている川島猛氏のインタビューを実施するなど、瀬戸内の歴史・文化・魅力をたっぷり取材しもらうことのできたツアーとなりました。

今後も引き続き米国市場に対して効果的なプロモーション活動を行なってまいります。



山口：岩川旗店 大漁旗絵付け体験
山口：旭酒造 工場見学、桜井会長へのインタビュー
広島：蒲刈物産 NETFRIXで取り上げられた蒲刈物産を取材
愛媛：大洲城 キャッスルステイの取材
香川：川島猛アートファクトリーで川島氏へのインタビュー

- 【視察スポット】
- 10/16 山口宇部空港、大谷山荘泊
 - 10/17 萩（大漁旗絵付け体験）、秋吉台、秋芳洞、元乃隅神社、別邸音信泊
 - 10/18 玄濟寺（禅体験）、旭酒造、平和公園、平和記念資料館、NIPPONIA竹原製塩町
 - 10/19 上蒲刈島（藻塩づくり体験、藻塩工場取材）、とびしま海道サイクリング、耕三寺、藤井酒造、NIPPONIA竹原製塩町
 - 10/20 シーパセオ乗船（呉⇒松山）、大洲城、臥龍山荘（呈茶）、内子町並み散策、酒器づくり・手すき和紙体験、内子の宿ころ・Setouchi Cominca Stays 久・民宿御宿月乃家 泊
 - 10/21 道後温泉（水口酒蔵、野球拳体験、足湯体験）、男木島（瀬戸芸：オンバファクトリーインタビュー）、女木島ビーチアパート泊
 - 10/22 女木島（瀬戸芸作品鑑賞）、本島（瀬戸芸作品鑑賞、笠島地区散策、フリッツ・ハンセン庵）、川島猛アートファクトリー（川島氏インタビュー）、女木島ビーチアパート泊
 - 10/23 高松空港

2019年11月16日～23日

ドイツメディア「ELLE Traveller」の取材ツアーを実施

せとうちDMOの重点対象市場の1つであるドイツからの誘客を促進するため、ドイツ富裕層向け有力媒体である「ELLE Traveller」を招聘し、「ラグジュアリー」をテーマとした取材ツアーを10月11日～17日の7日間で実施しました。

取材では、豊岡、姫路、倉敷、直島、豊島、砥部をめぐる、ホテル、古民家、旅館などハイエンドな宿に宿泊、取材していただくとともに、歴史や背景を紹介しながらアート作品や宿周辺のスポットを視察していただきました。今後も引き続きドイツ市場に対して効果的なプロモーション活動を行ってまいります。



城崎 極楽寺（座禅体験）
城崎 かみや民芸店（麦わら細工体験）
倉敷美観地区
豊島
砥部焼観光センター 炎の里

- 【視察スポット】
- 10/11 城崎泊
 - 10/12 豊岡（温泉時、極楽寺、かみや民芸店ほか）、城崎泊
 - 10/13 姫路（姫路城）、倉敷（倉敷美観地区）、倉敷泊
 - 10/14 直島（地中美術館、家プロジェクト、ベネッセハウスミュージアム）、直島泊
 - 10/15 豊島（豊島美術館、心臓音のアーカイブほか）、宇多津泊
 - 10/16 砥部（砥部焼観光センター炎の里、きよし窯、協和酒造）、砥部泊
 - 10/17 松山から東京へ移動後、帰国

2019年10月11日～17日

瀬戸内おみやげコンクール2019 インバウンドセミナー実施

せとうちDMOでは、瀬戸内の魅力あるおみやげ商品の知名度向上と販路拡大並びにインバウンド観光客にとって魅力ある商品を発掘していくことを目的として「瀬戸内おみやげコンクール2019」を開催しております。

今回、本コンクールの一環として、今後のインバウンド観光客の増加をビジネスチャンスとするために、インバウンド観光客の求めるニーズの理解や、商品開発のヒントを得ていただくためのインバウンドセミナーを、9月24日に香川県、25日に広島県にて実施いたしました。

当日は、株式会社羽田未来総合研究所の赤羽裕子様にインバウンドの消費傾向等の基礎知識からトレンド、羽田空港における取組や他地域での事例等をお話いただき、また株式会社J&Jヒューマンソリューションズの津山睦美様に、全国通訳案内士として活動されている経験を生かしたガイド目線からの「 Teppanお土産」等をお話いただきました。

ご参加いただいた菓子製造業の方からは、「お土産という視点からのインバウンドセミナーは初めてだったので、新鮮だった。」「自社の商品もインバウンドに対応していけるように早めに準備していきたい。」といった声をいただくことができ、インバウンドの現状把握と今後の取組みを考えていただく場となりました。

引き続き、瀬戸内の優れた商品の掘り起こしや、魅力あるおみやげ商品の開発促進につながるよう努めてまいります。



<瀬戸内おみやげコンクール2019>

8月19日(月)～10月31日(木)まで、瀬戸内(瀬戸内7県:兵庫県、岡山県、広島県、山口県、徳島県、香川県、愛媛県)産の農水産物等を原材料に使用もしくは瀬戸内の工場で製造された瀬戸内らしさあふれるお土産商品(菓子・スイーツ)を募集し、11月6日(水)に実施する一次選考を経て、令和2年1月(予定)に決勝大会を開催、最優秀商品等を決定します。

商品選考は、まず、瀬戸内らしさ、創意工夫、市場性、品質等の観点から一次選考を行い、一次選考通過商品を決勝大会で販売するとともに、一次選考の評価に当該販売額を加味して総合的に受賞商品を決定します。

イオン瀬戸内フェア開催！！

今年で7回目となるイオン中四国エリアでの「瀬戸内フェア」が、10月10日(木)～10月13日(日)の間、イオンの21店舗で開催されました。各店舗では、瀬戸内ブランド登録商品や地元の生鮮品など多くの地域産品が販売されました。

そして、特別催事店舗でセレモニーが開催されたイオンスタイル広島府中店では、催事場中心に瀬戸内ブランド登録商品の中で、最近登録されたものを含めた約25品のお酒・飲料・お菓子・調味料などの商品が展開され、特に試食販売商品などがお客様に好評を得ていました。その他実演販売では、香川県の骨付き鳥や地元広島焼きなども人気を集め、瀬戸内のグルメのお買物を楽しまれていました。

また、同店の特設ステージでは、関係者による開催セレモニーや地元のイベント開催とともに、瀬戸内7県の観光展も実施され、来店者も興味をもってご覧になっておられました。

今後もせとうち観光推進機構では、小売業などのご協力を得て、フェアや物産展等を通じ瀬戸内ブランド登録商品などの地域産品の販売促進を進めてまいります。



▲イオンスタイル広島府中店の瀬戸内フェア



▲瀬戸内ブランド登録商品等